

グループホーム 折尾東

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
	法人全体としての理念に基づき、地域密着型サービスの趣旨をふまえた理念がつけられている。地域の中で、「自分らしさ」の実現に向けて支援することを、事業所独自の理念としている。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
	理念は目に付きやすい場所(玄関入り口)に掲示しており、毎朝のミーティングや定例会時に理念を唱和し、日々の業務の中で、理念に根ざしたケアやサービスの支援に努め、実践に向けて取り組んでいる。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
	ホーム内の目に付きやすい場所(玄関入り口)に掲示すると共に、運営推進会議などで御家族や地域の方々に説明し、ホームの活動を理解して頂いている。		
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
	自治会に加入し組長としての役割も果たし、回覧板や市政だよりを配布するなど、地域住民としての役割を担うなど地域との連携に努めている。市民センターでの催しごと(運動会、盆踊りなど)また、文化祭には入居者様の作品を掲示する等積極的に参加している。また散歩の途中で立ち寄りの方々など日常生活の中で自然な交流がある。年間を通して地域との交流に積極的に取り組んでいる。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		
	町内会に加入しており、町内の組長の実績もある。地域の社会福祉協議会のふれあいネットワークの方が気軽に訪れ、入居者と一緒に運動したり等日常の中で地域との交流が自然に育まれている。散歩の途中で保育園・小学校・市民センターに立ち寄りたり、地域との交流を図っている。また、折り紙教室等地域のボランティアの協力もあり、地域の中に溶け込んだ展開を行っている。		

グループホーム 折尾東

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議等に於いて、地域の方から認知症高齢者の対応等の相談をうけアドバイスや助言を行っている。また電話での相談や見学者に対しても出来る事があれば敏速に対応するよう心がけている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今年で6回目の外部評価となり、法人内の4事業所(グループホーム)共に職員は十分に理解している。また、自己評価に満足することなく、外部評価を受け止め、より良い活動が出来るよう話し合い、実行している。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は定期的に2ヶ月に1回開催している。運営推進委員会では、昨年度の外部評価の結果を報告する等、取り組みや活動状況の報告にとどまらず、家族会の報告も行い意見要望を言っていただき、運営面に活かす取り組みを行っている。また、会議で得た情報を検討し、日々の業務に活かせるように努めている。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	北九州市の担当課とは、常に連絡を取り、情報交換を行っている。市の事業である「家庭介護教室」を自治会に対して年2回受託する等、積極的に行政との連携に努めている。また月2回社会福祉協議会より介護相談員を受け入れている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	法人内のグループホームにて、権利擁護の制度を利用している入居者がおり、支援できる体制を整えている。また、北九州市社会福祉研修所主催の権利擁護の研修に積極的に参加し、内部研修を行い資料を配布し、必要な時に活用できるように取り組んでいる。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修に積極的に参加し、内部研修を行うことにより、職員で話し合い、学ぶことにより、日頃から虐待を見過ごすことがないように注意し、防止に努めている。また、職員相互に意見の言いやすい環境にし、予防が出来るように努めている。		

グループホーム 折尾東

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約・解約時は、必ず文書と口頭で納得していただけるように説明を行っている。また、質問しやすい雰囲気作りに努めている。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に苦情箱を設置し、直接言いくいことは苦情箱に入れていただくようにしている。運営推進会議では入居者様、御家族にも参加していただき、意見や要望、苦情等を話せる機会を設けている。また、介護サービス相談員を月に2回受け入れている。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月に1回、家族に生活状況・健康状態・写真・金銭管理など手紙で報告している。また早急な連絡が必要な場合は、その都度連絡をしている。居室には入居者個別にグループホームでの日々がアルバムにまとめられ、家族がいつでも見ることができ家族にとってはホームでの暮らしぶりが手に取るようにわかり大きな安心感がある。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に苦情箱を設置している。また、相談窓口を設け、担当者に御家族が意見や要望等を言やすいような関係作りに努めている。また、運営推進会議に於いて意見や要望等を議題として取り上げ、解決へ向けて取り組んでいる。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定期的に、管理者が職員とのヒアリングを行い、意見を聞く機会を設けている。その都度、話し合いを設け、運営に反映させている。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>様々な状況に応じて勤務の調整を行い、柔軟な対応を心がけており、入居者様や御家族の状況や、要望にも柔軟に対応できるよう、職員間での話し合いを行っている。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>入居者様一人ひとりの、詳細なケアの基本方針を立てており、止むを得ず交代があった場合にも、ケア内容が変わらないよう支援している。また、新入社員と、入居者様との馴染みの関係が出来るまでは、先輩の職員がフォローしている。</p>		

グループホーム 折尾東

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	<p>職員の採用は、年齢・性別などで排除することはない。管理者は、定期的にヒアリングを行い、職員の向上心や、業務に対する意見や提案を掌握するよう努め、職員の精神的フォローを心がけている。また、職員が生き生きと働けるように、研修などの受講を含めサポートしている。</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>外部研修に積極的に参加し、内部研修を行い人権に対する意識を高めている。また、日々の暮らしの中でも、入居者様の人権に配慮したケアを行うよう努めている。</p>		
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年度ごとに、法人内4事業所(グループホーム)合同の、研修計画を立てている。合同研修は2ヶ月ごとに行っている。また、その他の月は、各事業所にて研修会を行っている。研修会では、事例検討や外部研修の資料を配布する等人材育成に努めている。また、日々の業務の中で、相互に意見をしやい、学べるような職場環境に努めている。</p>		
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内の4か所のグループホームと、定期的開催している研修会や相互の訪問を通して、交流や情報交換を行っている。また、外部での研修会や勉強会を機に、法人外のグループホームとも、相互訪問・情報交換を行っている。</p>		
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>定期的に管理者が、職員とのヒアリングを行い、意見を聞く機会を設けている。運営者が4事業所合同の、食事会を開催し話しやすい、環境作りを行っている。また、定期的に親睦会を実施している。</p>		

グループホーム 折尾東

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者や、職員の得意分野を活かせるような役割分担をし、全体のバランスを考えながら、それぞれが、目標や計画をたてて業務を遂行している。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に面談に伺い、ゆっくりと話を聞き、困っていること、不安なこと、求めていること等に対して、御本人が入居する前までに、出来る限り環境を整えるよう努める。		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に、御家族と面談を行い、御家族との関わりあい方や、御家族が困っていること、不安なこと、要望等を詳しく聞き、御本人が安心して、日々生活できることをお伝えし、また、入居後も随時相談など受け付けることをお伝えしている。		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御本人と御家族と話し合い、最も必要としている支援、サービスを考慮した対応に努めている。		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならぬよう徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前にホームに見学に来ていただく。また、併設のデイサービスを利用していただく等、徐々になじんでいただけるよう取り組んでいる。また、これまでの暮らしが継続できるように、親しんできた家具や食器など持ち込んでいただくように配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の暮らしの中で共に支え合い、普段の何気ない会話を大切にし、さりげなく支援することにより、お互いが「ありがとう」と伝える関係が築かれている。		

グループホーム 折尾東

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族会や来訪時に、入居者様の日々の生活などをお伝えし、行事の参加、病院受診の付き添い、外出等、職員と一緒にすることにより、一方の立場におかずに、一緒に支えていく関係が築かれている。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	毎月、担当職員による手書きの手紙の中に、日々のご様子や健康状態等を報告することにより、日々の生活を知っていただき、家族の絆がなくなるよう支援している。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御本人が、これまで大切にしてきた馴染みの方との交流・馴染みの場所など、関係が途切れないよう御家族と話し合い、支援を行っている。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者の趣味等を把握し、皆様で楽しめるようなレクリエーション等を行い、利用者同士が関わり合えるよう支援している。また、職員が間に入り、会話を盛り上げ、日々笑顔で過ごせるよう努めている。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入居者様の、御家族へ管理者より連絡をとり、現在のご様子を伺ったり、御家族の方からの相談には、ニーズに応じた関係機関を紹介するなど、御本人、御家族が満足したサービスが提供できるよう支援に努める。		
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様の、思いや意向を職員で共有するために「ミーティングシート」により、情報の共有化を図っている。入居者様との会話を大切に、会話の中から本人本位の思いや、意向を聴きとりアセスメントを行い、本人のライフスタイルなどを尊重した、ケアやサービスの提供を行っている。		

グループホーム 折尾東

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御本人との日々の会話や、御家族からの情報により、生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境の把握に努めている。		
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の生活の中で、一人ひとりが「自分らしく」過ごしていただけるよう、心身の状態を理解し、日々の変化など、職員間での伝達を周知し、現状の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	御本人や、御家族から話を聞き、関係者とカンファレンスを行い、介護支援専門員が介護計画書を作成している。		
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	1ヶ月に1回モニタリングを行い、短期目標が達成できているか確認している。状態の変化や急変時など、計画を再考する必要がある場合は、ミーティングを行い計画を見直している。		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録は、個別に記録しており、日々の様子、心身の状態、ケアの実践などが仔細に記載されている。また、気づきや工夫などは朝夕の申し送りに話し合い、ミーティングシートにおとし職員間での情報の共有に努め介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	デイサービスを併設し、デイサービスのカラオケルームやマッサージ機を利用することができ、デイサービスとの合同行事(バーベキューや音楽鑑賞など)を楽しむことができ、利用者との交流やふれあいの機会が多い。また、法人内に訪問介護、介護支援センターなどがあり、御本人や御家族の要望に応じた支援をしている。		

グループホーム 折尾東

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	2ヶ月に一度の運営推進会議、ボランティアの方々による毎月の折り紙教室・生け花教室の開催、近隣保育所との行事相互訪問、消防署による防災指導、救命講習、火災訓練、必要時の警察への応援要請、地域祭事に参加する等行っている。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービス機関と連携を取り合い、入退居時等にスムーズな支援を提供し、御本人・御家族の負担軽減に努めている。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議等にて地域包括支援センターの方との意見交換や助言を頂きプランに反映させている。また、地域との連携などについても情報や助言を頂いている。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	特に希望がない方には、御本人・御家族の同意を得て協力医に1ヶ月に1回往診してもらっている。歯科は1週間に1回訪問診察を受けている。また、状態変化や健康状態に問題が生じた場合は、早急に受診するなど対応している。受診結果は随時家庭に報告している。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	定期的に協力医療機関でもある。物忘れ外来たつのおとしごクリニックを受診し、その都度、助言や指導を受け認知症の悪化防止に努めている。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員と常に連携をとり、入居者様の日々の状態を相談し、日常の健康管理を支援している。また、看護計画書を把握し、入居者の状態の変化があった時には直ぐに報告し、指示を仰ぐようにしている。		

グループホーム 折尾東

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には、頻繁に御見舞い伺い、入居様が安心して過ごせるよう支援している。また、病院の医師や看護師、ソーシャルワーカーと連携し、状態把握に努め、早期に退院できるように努めている。退院に向けての、カンファレンスには御家族と一緒に参加している。		
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	提携医療機関と連携体制を取っており、「看取りに関する指針」を定め、かかりつけ医・御家族とも話し合っ方針を共有し、入居様・御家族の同意を得て記名・捺印のある書類を完備している。		
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	入居様が重度化してきた場合、かかりつけ医、御家族と話し合い、状態を把握し出来ること、出来ないことを見極め、職員全員で支援するように取り組んでいる。また、今後の変化に備えて話し合いの場を持ち、検討、準備している。		
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	事前に退去後に関わるケア関係者へ情報提供を行い、退去前に環境を整え、出来る限りダメージを最小限に止めることが出来るよう努めている。		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉遣いに気をつけ、人生の先輩でもある入居者様に対して、常に尊敬の気持ちを忘れずに、プライバシーに配慮した言葉かけや笑顔で優しく対応するなど心がけている。また、「親しき仲にも礼儀あり」を常に職員に周知徹底している。		

グループホーム 折尾東

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居様が自己決定、自己選択が行えるよう、声かけし、自分の意思が表現できるよう支援している。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、一人ひとりのペースを大切に、その日の天候や健康状態にあわせ、入居者の希望を尊重し、日々穏やかに、楽しく過ごしていただけるよう支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	2ヶ月に1回訪問美容院が来訪し、カットや顔そりを行っている。また、行きつけの美容室へ御家族と一緒にいられる入居者様もいらっしゃる。日々の生活でもお化粧品や身だしなみには気をつけている。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みを献立に活かし、彩りや盛り付けを工夫し、入居者様と職員が、楽しく会話をしながら食事をしている。1ヶ月に1度は外食を楽しんでいただけるように支援し、ドライブの際におやつを楽しむなど食生活に変化をつけている。片づけなどは一緒に行っている。また、その方その方に合わせた食事形態を行っている。		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	職員と一緒に買い物に出かけ、好みのお菓子など購入したり、御家族が来訪時に持参したりしている。また、飲み物やおやつ等は、御本人の望む物を用意し、日常的に楽しめるよう支援している。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄シートへ記入し、一人ひとりのパターンを職員全員が把握している。また、時間ごとにトイレへお誘いする等し、気持ちよく排泄ができるよう支援している。		

グループホーム 折尾東

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3～4回の入浴を基本としているが、本人の希望を聞き入浴日や時間などの柔軟な対応も行っている。また、入浴を楽しんでいただくように努めている。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	安心して気持ちよく休息したり眠れるよう室温調整や換気等に配慮している。また、日々適度な運動などを心がけている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや慶びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かし役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	日々の暮らしの中では、食器の片付け・掃除・洗濯たたみ・花の水やり・草むしりなど役割を持っていただき、趣味である手芸や習慣など入居者の生活歴を活かした支援を行っている。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様の中には御自分で、お小遣いを管理されている方もおられ、職員と一緒に買い物などに出かけられ、御自分で財布から支払われている。金銭感覚が無くならないように支援している。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日、散歩・外気沿やドライブに出かけている。また、美術館や写真館・作品展などにも出かけたり、地域行事に参加するなど、日常的に外出を多く取り入れるように支援している。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	普段行けないところ等に御家族にも声をかけ外出している。また、美術展や作品展などに出かけたり、地域の行事などにも参加する等、一緒に楽しめるよう支援している。		

グループホーム 折尾東

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけられる時にはホームの電話を使用されている。使用時には居室で使用する等、プライバシーに配慮した支援を行っている。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	御家族や友人等の訪問を常に歓迎しており、職員も気持ちの良い挨拶を心がけ、気軽に立ち寄ってもらえる雰囲気作りにも努めている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、内部研修などで話し合い、職員も理解に努めている。また、外部研修にも参加し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。現在まで身体拘束を行ったことはない。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は自由に出入りができるように職員が見守りを行い、鍵をかけないケアを実施している。入居者が出かける場合は、職員が後ろから付きそい見守るようにしている。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に入居者様の所在を確認し、居室で一人で過ごされている際にも時折声を掛けるなど、安否を確認している。また、夜間はフットセンサーや鈴などで対応し、起きて来られた時にすぐに対応できるように、安全に配慮している。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意が必要な物品に関しては保管場所を決めたり、一律になくすのではなく、一人ひとりのレベルに合わせて、危険を取り除いたり危険を防ぐ取り組みをしている。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人ひとりのリスクについてミーティング等で常に話し合うと共に、内部研修等で専門職から助言をもらう等し、事故防止に努めている。また、ヒヤリハットを記入し、職員全員で回覧し、対策を考えることで事故を未然に防ぐよう努めている。		

グループホーム 折尾東

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変や事故発生時の対応について、外部研修への参加や定期的に内部研修を行っている。また、消防署の方に来ていただき、心臓マッサージやAEDの使用方法等の講習を行い、急変や事故発生時に備えている。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、防災訓練を行っており、昼夜を問わずに入居者様が安全に避難出来るよう訓練を行っている。また、運営推進会議の時にも常に協力をお願いしている。、自治会、近隣の方へ災害時の協力もお願いしている。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	御家族の来訪時等に、心身の状態や昼夜の様子等を話し、起こりうるリスクについて説明している。また、特別な変化が生じた場合には連絡をし、今後考えられるリスク等についても説明し、対応等を相談し、抑圧感の無い暮らしを送っていただけるよう心がけている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々の体調の変化や異変等、日誌に記録し、ミーティングシートや朝夕の申し送りにて、情報を共有するようにしている。また、異変時は速やかに管理者に報告し主治医に報告し指示を仰いでいる。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに内服薬等の薬の説明書をファイルし、薬の副作用についても、内部研修や定例会で学んでおり理解している。また、処方が変わった場合にはミーティングシートに記載し、症状の変化等の確認に努めている。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘予防の為に1日の水分摂取量等を記入し、水分強化やその方の好みに合わせた飲み物等工夫している。また、適度な運動を行っ心がけている。食事の摂取量も留意している。		

グループホーム 折尾東

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、一人ひとりに応じた口腔ケアを行っている。また、必要な方は、1週間に1回訪問歯科を受けている。医師よりの助言や指導もある。		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を毎食時把握しチェックシート表に記入している。また、食事の量や形態も個別に対応し、水分量にも気をつけている。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	外部研修に参加し、内部研修に於いて予防や対応を学び、手洗い、うがい、消毒に注意し、実行している。また、感染症マニュアルを活用し予防に努めている。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所や食材については、衛生管理を徹底し、新鮮な食材を配達してもらい安全な食材と管理に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関や建物の周りには、季節に応じた花や植木を植え、明るく親しみやすい雰囲気作りに努めている		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関を入ると開放的なリビング空間があり、対面式キッチンになっており、落ちついた雰囲気のリビングになっている。リビング空間は椅子やソファなどが置かれ、季節の花や季節に応じた飾り物が、飾られ、入居者が居心地よく過ごせるように工夫している。		

グループホーム 折尾東

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関入り口と、小部屋に、ベンチやソファを置き、ゆっくりと出来る場所作りに努めている。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御本人や御家族と相談し、御本人の使い慣れた物を使用し、いただき、好みの物を飾られたりし、居心地よく過ごせるよう工夫している。また、床暖房により、快適な生活への配慮も行われている。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	においや空気がこもらないように、適切な換気を行い、空気清浄機や加湿器を利用し、湿度や温度調整を行っている。また、居室やリビングに湿度計と温度計を設置している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できるだけ自立した生活が送れるように、必要な場所には手すりを付け、物の配置に気を配り、安全に努めている。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入居者様一人ひとりに、個別に対応し、能力に応じ、混乱しないよう接している。また、混乱や失敗が生じた時は、プライドに配慮した声かけや対応を行っている。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物や玄関周囲には、常に季節の花が咲き、入居者様が御自分の居室やリビングに、花を飾られ楽しまれている。		

グループホーム 折尾東

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム 折尾東

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

街中であるという利点を活かし、自由に地域資源を利用していただいている。また、近隣の保育所、お散歩コースに位置しており子供達との交流を楽しんでいただいている。併設のデイサービスがあり、毎年、合同で行われる夏祭りや餅つき大会等があり、入居者様や御家族の好評の行事となっている。また、法人内には、デイサービスセンター、ヘルパーセンター、居宅支援センター等があり、地域の方々や御家族の相談等にもおおいに活用されている。また、職員は入居者様が、地域の中で「自分らしく」日々楽しく過ごしていただけるよう常に、入居者様や御家族の、「思い」を大切に、「笑顔」で支援を行っている。